

主催：早稲田大学総合研究機構ベトナム総合研究所
社会科学総合学術院先端社会科学研究所

国際シンポジウム

「アジアダイナミズムと メコン地域開発」

入退場
自由

メコン流域諸国は、日本、韓国などアジア先進国から資本・技術・経営資源が導入され、アジアでのダイナミックな分業に参加することで、発展が大いに期待されている。また、ASEAN新規加盟国であるこれら諸国は、ASEAN共同体や東アジア共同体が形成する上で、発展が求められている。本シンポジウムでは、アジアダイナミズムのコンテキストの下で、メコン流域地域の潜在性と発展条件を様々なアプローチにより究明する。

日時

2018年2月2日（金）

9：50 - 17：10（開場：9：20～）

会場

早稲田大学
井深大国際会議場

言語：日本語

参加費：無料

<参加登録・お問い合わせ先>

vri200410@yahoo.co.jp

ベトナム総合研究所事務局

TEL：03-3208-0251



9:50-10:00 開会挨拶: 山田 満(早稲田大学教授、先端社会科学研究所長)

10:00-10:20 基調報告: トラン・ヴァン・トゥ(早稲田大学教授、ベトナム総合研究所長)

10:20-12:20 【第1セッション】メコン流域のインフラと人的資本

座長: 鍋嶋 郁(早稲田大学准教授)

	報告タイトル	
1	メコン地域3つの経済回廊の道路インフラ開発	報告: 石田正美(アジア経済研究所 開発研究センター長) コメント: 藤村 学(青山学院大学教授)
2	GMSの東西回廊の新開発戦略: 工業化先行論か観光先行論か	報告: ド・マン・ホーン(桜美林大学准教授) コメント: 松尾 昌宏(桜美林大学教授)
3	カンボジア、ラオス、ミャンマーの労働流出の現状と経済への影響	報告: 松本邦愛(東邦大学講師) コメント: 大門 毅(早稲田大学教授)
4	CLMにおける経済発展と人的資本開発	報告: 植田啓嗣(西九州大学講師) コメント: 佐藤惣哉(青山学院大学助教)

13:15-15:15 【第2セッション】メコン流域各国の開発と分業

座長: 大門 毅(早稲田大学教授)

	報告タイトル	
5	アジアの経済発展のなかでのカンボジアの新たな役割	報告: 保倉 裕(東京音楽大学理事) コメント: 初鹿野直美(アジア経済研究所副主任研究員)
6	ラオスの外国直接投資と産業発展の展望と課題	報告: 西 晃(早大ベトナム総合研究所招聘研究員) コメント: ケオラ・スックニラン (アジア経済研究所副主任研究員)
7	GMS後発国ミャンマーの発展可能性と近隣諸国との経済関係	報告: 江橋正彦(明治学院大学名誉教授) コメント: 石川幸一(亜細亜大学教授)
8	Economic Relations between Vietnam and Cambodia, Laos, and Myanmar: Trade and Investment Dynamic Changes in the GMS Cooperation	報告: Nguyen Cam Nhung(ベトナム国立大学准教授) コメント: 藤田麻衣(アジア経済研究所地域研究センター 東南アジアⅡ研究グループ長)

15:30-17:00 【第3セッション】メコン流域の開発と多国籍企業

座長: 横田 一彦(早稲田大学教授)

	報告タイトル	
9	日本企業の対メコン投資とベトナムの産業高度化の展望	報告: 池部 亮(専修大学准教授) コメント: 梅崎 創(アジア経済研究所開発研究センター 経済統合研究グループ長)
10	韓国のメコン諸国との経済関係～ベトナムへの集中投資と周辺諸国への波及の可能性	報告: 苅込俊二(早稲田大学助教) コメント: 大木博巳(国際貿易投資研究所研究主幹)
11	「メコン色」強めるタイ経済—急増する対CLMV貿易・投資	報告: 牛山隆一(日本経済研究センター主任研究員) コメント: 椎野幸平(拓殖大学准教授)

17:00-17:10 閉会挨拶: トラン・ヴァン・トゥ(早稲田大学教授、ベトナム総合研究所長)